

図4-1-16 主要な河川及び博多湾の位置図

### (2) 水質の状況

福岡市では、河川について環境基準点19地点で月1回、補助地点12地点で年4回、 海域について環境基準点8地点で月1回、補助地点で3地点で年4回、公共用水域での 水質調査を行っている。

また、福岡市による「アイランドシティ整備事業 環境監視結果」により、アイランドシティ周辺海域において水質のモニタリング調査を行っている。

# 1) 公共用水域水質調査結果

調査対象地域における平成 22 年度の河川及び海域の水質の測定結果は表 4-1-22 に、経年変化は図 4-1-17 に示すとおりである。また、水質測定地点は図 4-1-19 に示すとおりである。

# a. 生活環境項目

平成22年度における生活環境項目の調査結果は、河川では、全項目で環境基準を達成しているが、海域(E-2)でCOD75%値が環境基準を達成していなかった。経年的には、河川ではBOD75%値が減少傾向を示しており、海域ではCOD75%値、全窒素、全燐共に概ね横ばい傾向を示している。

表 4-1-22(1) 河川水質測定結果(平成 21 年度:生活環境項目)

	河川名	唐の原川	多々良川	
	地点番号	1	2	
	地点名	浜田橋	名島橋	基準値(C)
	類 型	С	С	
	項目	年至	平均値	
	Hq	7. 7	7.6	6.5以上8.5以下
	DO(mg/L)	10	7.4	5mg/L以上
4-	BOD(mg/L)	1.0	1. 1	_
生活	BOD75%値(mg/L)	1.1	1.3	5mg/L以下
	COD(mg/L)	4. 2	4.2	_
	SS(mg/L)	3	6	50mg/L以下
	大腸菌群数	$12.1 \times 10^{3}$	2 1 × 10 <sup>3</sup>	_
	(MPN/100mL)	12.1 × 10	2.1 × 10	
	全窒素(mg/L)	0. 93	2.2	_
	全燐(mg/L)	0.064	0.10	<del>-</del>
	全亜鉛(mg/L)	0.006	0.009	_
環境項目	SS(mg/L) 大腸菌群数 (MPN/100mL) 全窒素(mg/L) 全燐(mg/L) 全亜鉛(mg/L)	$ \begin{array}{c} 3 \\ 12.1 \times 10^{3} \\ 0.93 \\ 0.064 \\ 0.006 \end{array} $	$ \begin{array}{c} 6 \\ 2.1 \times 10^{3} \\ 2.2 \\ 0.10 \\ 0.009 \end{array} $	- 50mg/L以下 - - - - - - - - - - - -

備考:1.80D75%値は、各月の全層平均値を値が小さい順に並び替えた12個のデータの9番目のデータである。

2. 表中の「-」は、環境基準値が定められていない項目である。

3. 類型の区域区分に関しては、表 4-2-25、表 4-2-26、表 4-2-31、図 4-2-13 を参照。

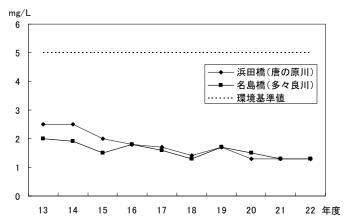


図 4-1-17 (1) BOD75%値(年平均値)の経年変化(平成 13 年度~平成 22 年度)

資料:「福岡市水質測定結果報告書 平成22年度版」(平成24年1月)

表 4-1-22(2) 海域水質測定結果 (平成 22 年度:生活環境項目)

	( T 1 ZZ (Z) /H	以小貝別足叫木	(1/% == 1/2)	工作來先大口
	海域名	東部	海域	
	地点番号	①	2	
	地点名	E-2	E-6	基準値(B・Ⅲ)
	類型	В•Ш	В • Ш	
	項目	年平	均値	
	На	8. 3	8. 3	7.8以上8.3以下
	DO(mg/L)	9. 1	9. 0	5mg/L以上
	COD(mg/L)	2. 6	2.8	_
生	COD75%値 (mg/L)	3. 1	3. 0	3mg/L以下
活環	SS(mg/L)	3	4	_
境項	大腸菌群数 (MPN/100mL)	36	53	_
目	n-ヘキサン抽出物 質 (mg/L)	ND	ND	検出されないこと
	全窒素(mg/L)	0.58	0. 56	0.6mg/L以下
	全燐(mg/L)	0.035	0.032	0.05mg/L以下
	全亜鉛(mg/L)	0.002	0.002	_

備考:1.COD値は、各月の全層平均値を平均した値である。

- 2. COD75%値は、各月の全層平均値を値が小さい順に並び替えた 12 個のデータの 9 番目のデータである。年間を通じて環境基準に適合しているかどうかを判断する場合に用いられる。年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している場合、環境基準に適合しているものと判断する。 COD の量は主として水中に含まれる有機物の量を表し、COD 値が高いと汚濁度が高いといえる。
- 3. 全窒素及び全燐に係る環境基準への適合性の評価については、各海域内の各環境基準 点における表層の年間平均値を当該海域内のすべての基準点について平均した値に よりおこなう。
- 4. ND は、定量限界値未満を示す。
- 5. 表中の「-」は、環境基準値が定められていない項目である。
- 6. 類型の区域区分に関しては、表 4-2-26、表 4-2-27、表 4-2-28、表 4-2-30、表 4-2-31、 図 4-2-13 を参照。

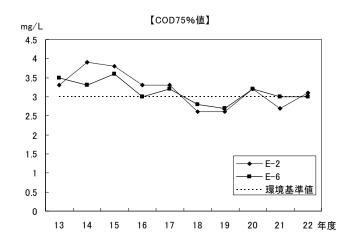


図 4-1-17 (2) COD75%値の経年変化(平成 13 年度~平成 22 年度)

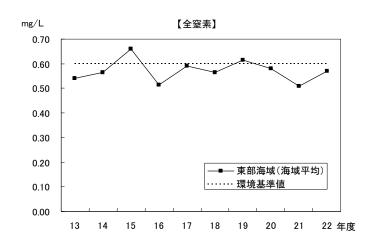


図 4-1-17 (3) 全窒素 (年平均値) の経年変化 (平成 13 年度~平成 22 年度)

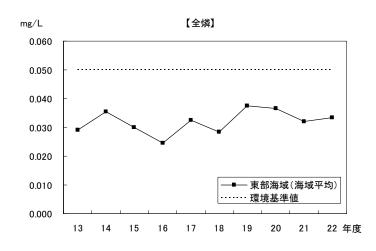


図 4-1-17 (4) 全燐 (年平均値) の経年変化 (平成 13 年度~平成 22 年度)

備考:1.全窒素及び全燐に係る環境基準への適合性の評価については、各海域内の各環境基準 点における表層の年間平均値を当該海域内のすべての基準点について平均した値によ りおこなう。

### b. 健康項目及び要監視項目

調査対象地域における平成 22 年度の河川及び海域の水質の測定結果は表 4-1-23 に、水質測 定地点は図4-1-19に示すとおりである。

平成 22 年度における健康項目の調査結果は、ほう素が 2 地点(名島橋、香椎橋)で環境基 準を超えている以外は全て環境基準を達成している。河川(名島橋、香椎橋)におけるほう素 の基準値超過は、海水の影響によるものと考えられる。

また、平成22年度における要監視項目の調査結果は、3地点(名島橋、東部海域(E-2, E-6)) でウランが指針値(平成 16 年 3 月 31 日付 環境省環境管理局水環境部長通知)を上回ってお り、海水の影響によるものと考えられる。

表 4-1-23(1) 健康項目の調査結果(平成22年度)

		<u> </u>	河	川 川	水気口のか	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>		
	項目	唐の原川	多々良川	浜男川	香椎川	東部海域	東部海域	東部海域	基準値
		(浜田橋)	(名島橋)	(御島橋)	(香椎橋)	(E-2)	(E-6)	(E-X1)	
		1	2	3	4	1	2	3	
	カト゛ミウム (mg/L)	-	_	_	_	_	_	-	0.003mg/L以下
	全シアン(mg/L)	-	_	_	_	_	_	-	検出されないこと
	鉛(mg/L)	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	-	_	-	0.01mg/L以下
	六価クロム(mg/L)	_	_	_	_	_	_	-	0.05mg/L以下
	砒素(mg/L)	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	-	0.01mg/L以下
	総水銀(mg/L)	_	_	_	_	_	_	-	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀(mg/L)	_	_	_	_	_	_	-	検出されないこと
	PCB (mg/L)	_	_	_	_	_	1	1	検出されないこと
	シ゛クロロメタン (mg/L)	_	_	_	_	_	1	1	0.02mg/L以下
	四塩化炭素(mg/L)	_	_	_	_	_	ı	I	0.002mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン(mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	0.004mg/L以下
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	_	_	_	_	_	ı	ı	0.1mg/L以下
健	シス-1, 2 ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	_	1	1	0.04mg/L以下
康	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	_	-	-	-	-	-	_	1mg/L以下
項目	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	_	_	_	_	_	_	_	0.006mg/L以下
	トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	_	_	-	0.03mg/L以下
	テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	_	_	-	0.01mg/L以下
	1, 3-ジクロロプロペン(mg/L)	-	_	_	_	_	_	-	0.002mg/L以下
	チウラム (mg/L)	-	_	_	_	_	_	_	0.006mg/L以下
	シマシ゛ソ (mg/L)	-	_	_	_	_	1	1	0.003mg/L以下
	チオヘ゛ンカルフ゛ (mg/L)	-	_	_	_	_	_	_	0.02mg/L以下
	ベンゼン(mg/L)	-	_	_	_	_	_	_	0.01mg/L以下
	セレン (mg/L)	-	_	_	_	_	_	_	0.01mg/L以下
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒(mg/L)	0. 57	1. 1	0.70	0.81	0. 16	0. 15	0. 20	10mg/L以下
	ふっ素(mg/L)	0.25	0.75	0. 27	0.48	-	_	-	0.8mg/L以下
	ほう素(mg/L)	0.71	2.0	0.68	1.2	-	-	-	1mg/L以下
	1, 4-ジオキサン(mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005		0.05mg/L以下

備考:1.環境基準を超えているものは網掛けとした。

<sup>2.「</sup>一」は、調査されていないことを示す。 3.硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については、各月表層の平均値である。

<sup>4.</sup> 一般的な海水中のほう素濃度は、4.5mg/L 程度といわれている(国立天文台編 理科年表:4.5mg/L)。なお、河川(名島橋、香椎橋)のほう素基準値超過については、海水遡上の影響が考えられる。海域については、ふっ素、ほう素の環境基準は適用されない。

<sup>5.</sup> 公共用水域の水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準に関しては、平成23年10月27日より、表4-2-23の基準値が適用されて いる。

<sup>「</sup>理科年表 平成24年(机上版)」(平成23年11月、自然科学研究機構 国立天文台)

表 4-1-23 (2) 要監視項目の調査結果(平成 22 年度)

		河	Л	海	<del></del>	
	項目	唐の原川 (浜田橋)	多々良川 (名島橋)	東部海域 (E-2)	東部海域 (E-6)	指針値
		1	2	1	2	-
	クロロホルム	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.06mg/L以下
	トランス-1, 2-ジクロロエチレン	-	-	-	_	0.04mg/L以下
	1, 2-ジクロロプロパン	-	-	-	-	0.06mg/L以下
	p-ジクロロベンゼン	-	-	-	-	0.2mg/L以下
	イソキサチオン	< 0.0001	< 0.0001	-	-	0.008mg/L以下
	ダイアジノン	_	_	-	-	0.005mg/L以下
	フェニトロチオン	< 0.0001	< 0.0001	-	-	0.003mg/L以下
	イソフ゜ロチオラン	< 0.0001	< 0.0001	-	_	0.04mg/L以下
	オキシン銅	-	-	-	-	0.04mg/L以下
	クロロタロニル	-	-	-	_	0.05mg/L以下
	プロピザミド	-	-	-	-	0.008mg/L以下
	EPN	-	-	-	_	0.006mg/L以下
要	ジクロルボス	-	-	-	-	0.008mg/L以下
監	フェノフ゛カルフ゛	< 0.0001	< 0.0001	-	_	0.03mg/L以下
視項	イプ゜ロヘ゛ンホス	_	_	-	-	0.008mg/L以下
目	クロルニトロフェン	-	-	-	-	_
	トルエン	-	-	-	-	0.6mg/L以下
	キシレン	_	_	-	1	0.4mg/L以下
	フタル酸シ゛エチルヘキシル	-	_	ı	1	0.06mg/L以下
	ニッケル	-	_	ı	1	_
	モリブデン	< 0.007	0. 007	0.010	0.010	0.07mg/L以下
	アンチモン	< 0.002	< 0.002	ı	1	0.02mg/L以下
	塩化ビニルモノマー	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.002mg/L以下
	エヒ゜クロロヒト゛リン	< 0.00004	< 0.00004	< 0.00004	< 0.00004	0.0004mg/L以下
	全マンガン	0.012	0. 011	0.010	0.013	0.2mg/L以下
	ウラン	0.0006	0.0023	0.0024	0.0025	0.002mg/L以下
	フェノール*	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	-
	ホルムアルデヒド*	< 0.03	< 0.03	< 0.008	< 0.008	_

備考: 1.指針値を超えているものは網掛けとした。

資料:「福岡市水質測定結果報告書 平成22年度版」(平成24年1月)

「理科年表 平成24年(机上版)」(平成23年11月、自然科学研究機構 国立天文台)

<sup>2. \*</sup>フェノールとホルムアルデヒドは水生生物の保全にかかる要監視項目を示す。

<sup>3.</sup> 一般的な海水中のウラン濃度は、0.003mg/L 程度といわれている (国立天文台編 理科年表:0.0032mg/L)。なお、河川 (名島橋) のウラン指針値調査についても海水の影響が考えられる。

### 2) アイランドシティ整備事業環境監視調査結果

アイランドシティ周辺海域では、アイランドシティ整備事業のモニタリング調査として環境監視を実施している。

調査対象地域における平成20年度 $\sim$ 22年度における調査概要は表4-1-24(1)に示すとおりであり、毎年調査地点や項目を選定しながら調査を実施している。調査地点は図4-1-19に示すとおりである。

平成 21 年度~22 年度は和白海域に限定した調査となっているため、比較的広域に調査が行われている平成 20 年度の調査結果を表 4-1-24(2)に示す。

調査の結果、クロロフィルaが高い春から秋にかけて濁度もやや高い傾向にあり、夏にはCOD(有機汚濁の指標)がやや高く、底層のDO(貧酸素の指標)はやや低い傾向が見られる結果となっている。

表 4-1-24(1) アイランドシティ整備事業 環境監視調査地点概要 (水質)

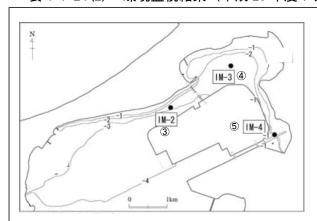
	調査地点	調査年度						
		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度				
3	500m 水路 (IM-2)	· 調査項目:	_	_				
4	和白海域 (IM-3)		調査項目: COD, 全窒素, 全燐, 無機態窒素, 無機態燐, 濁度, pH, 塩分, 水温, DO	調査項目: DO				
⑤	御島海域 (IM-4)	,然似是例,但反,DU	_	_				

備考:1.「一」は、調査されていないことを示す。

資料:「平成20~22年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/index.html (福岡市港湾局)

表 4-1-24(2) 環境監視結果 (平成 20 年度:アイランドシティ整備事業 環境監視結果)



COD						単位	立: mg/L	
調査日	IM-	-2	IM-	IM-3		IM-4		
加里.口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値	
H20. 4. 28	2.5	2. 4	2.4	2. 3	2. 3	2.4		
H20. 5. 13	3.9	4. 1	5.3	5. 3	2. 7	2. 5		
H20. 6. 10	2.2	2. 5	2. 2	2. 5	1. 9	2. 1		
H20. 7. 9	3.5	2. 5	3. 9	2.6	3. 7	3. 4		
H20.8.7	3.6	3.4	4.4	4.0	2. 9	2.8		
H20. 9. 8	2.8	2. 7	2.9	2. 7	2. 9	2. 9	3以下	
H20. 10. 7	3.6	2. 5	4.5	3. 9	2. 5	2. 1	357 1	
H20. 11. 5	2.8	2. 9	3. 2	3. 4	2.3	2. 2		
H20. 12. 4	2.5	2.6	2.4	2. 5	2.4	2.4		
H21.1.7	2.0	1. 9	2.5	2.7	2.0	1.9		
H21. 2. 5	2.2	2. 1	2. 1	2. 2	2.0	2.0		
H21. 3. 4	2.3	2. 5	2.6	2. 5	1. 9	1.6		

全窒素						単位	立:mg/L 環境	
調査日	IM-2		IM-	IM-3		IM-4		
<b>阿</b> 且.口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値	
H20. 4. 28	0.70	0.66	0.60	0.64	0.57	0.58		
H20. 5. 13	0.63	0.59	0.49	0.48	0.40	0.38		
H20. 6. 10	0.47	0.48	0.43	0.50	0.69	0.55		
H20. 7. 9	0.38	0.62	0.42	0.62	0.43	0.47		
H20. 8. 7	0.80	0.69	0.60	0.59	0.59	0.59		
H20. 9. 8	0.37	0.41	0.47	0.50	0.34	0.35	0.6	
H20. 10. 7	0.58	0.54	0.52	0.52	0.41	0.43	以下	
H20. 11. 5	0.87	0.82	0.67	0.69	0.60	0.57		
H20. 12. 4	1.20	1.20	1. 15	1.10	0.87	0.92		
H21. 1. 7	1.16	1.11	1.01	1.05	0.83	0.84		
H21. 2. 5	0.86	1.06	0.75	0.73	0.56	0.57		
H21. 3. 4	0.56	0.57	0.45	0.50	0.38	0.40		

無機態窒素	ŧ					単位	立: mg/L
調査日	IM-	-2	IM-	-3	IM-	環境	
<b>剛里</b> 口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値
H20. 4. 28	0.424	0.412	0.308	0.360	0.379	0.388	
H20. 5. 13	0.078	0.094	0.036	0.006	0.149	0.135	
H20. 6. 10	0.166	0.201	0.161	0.199	0.211	0.210	
H20. 7. 9	<0.020	0.266	<0.020	0.205	0.042	0.052	
H20. 8. 7	0.330	0. 234	0.030	0.117	0.267	0.274	
H20. 9. 8	0.009	0.116	0.081	0.121	0.039	0.081	
H20. 10. 7	0.233	0.338	0.043	0.114	0.203	0.203	_
H20. 11. 5	0.654	0.626	0.386	0.355	0.449	0.439	
H20. 12. 4	1.039	1.059	0.960	0.960	0.717	0.761	
H21. 1. 7	1.011	1.024	0.835	0.836	0.710	0.699	
H21. 2. 5	0.684	0.898	0.504	0.422	0.390	0.386	
H21. 3. 4	0.380	0.421	0.265	0.255	0.220	0.220	

濁度						ì	単位:度
調査日	IM-	-2	IM-	-3	IM-	環境	
<b>阿里</b> . 口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値
H20. 4. 28	2.4	2.8	2.5	2.9	3.0	3. 2	
H20. 5. 13	6.9	6. 7	7.2	7.7	5. 2	5.0	
H20. 6. 10	1.7	4.6	2.0	3.6	1.8	2.9	
H20. 7. 9	5.3	3. 3	4.8	4.4	5.8	5. 3	
H20. 8. 7	6.8	4.0	12.7	8.3	4.3	3.8	
H20. 9. 8	4.5	3. 9	4.5	4.4	5.0	4.5	_
H20. 10. 7	3.7	3. 4	6. 2	6. 2	5. 2	4.8	
H20. 11. 5	3.1	3. 3	5. 9	6.8	2. 3	2.3	
H20. 12. 4	3.5	3.8	3.8	4. 1	3. 2	3. 2	
H21. 1. 7	2.1	2. 2	3.4	3. 2	2.6	2.6	
H21.2.5	2.2	2. 3	2.6	3.8	3.4	3.4	
H21. 3. 4	3.7	5. 1	3. 5	3. 9	2.0	2. 1	

ク	ロロフィ	Νa					単位	: μg/L
	調査日	IM-	-2	IM-	-3	IM-	-4	環境
	帅旦. 口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値
Н	[20. 4. 28]	4.6	6.2	4.2	4.8	1.5	1.6	
Н	[20. 5. 13]	34.8	35. 9	37. 2	40.5	9.1	7. 9	
Н	[20. 6. 10]	3.4	7.6	1.9	6. 9	1.3	3. 2	
ŀ	H20. 7. 9	12.4	10.0	13. 2	19. 1	20.1	24. 9	
F	H20. 8. 7	27.9	27.7	59.6	42.3	16.3	16.0	
ŀ	H20. 9. 8	19.8	13. 3	13. 1	11.6	17.0	17. 9	
Н	[20. 10. 7	36.6	10.8	39.8	40.6	6.1	6.3	_
Н	[20. 11. 5	16.9	10.7	9. 2	15.6	1.3	1.6	
Н	[20. 12. 4	3.2	2.9	4.6	4.4	1.7	1. 7	
F	H21.1.7	6.7	4. 1	14. 2	12.4	2.3	2. 2	
ŀ	H21.2.5	9.0	6.5	6.9	9.7	3.9	3. 9	
I	H21.3.4	5.9	5. 9	9.5	10.3	2.3	2. 2	

全燐						単位	立: mg/L
調査日	IM-	-2	IM-	-3	IM-	-4	環境
<b>加且</b> .口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値
H20. 4. 28	0.030	0.029	0.026	0.029	0.031	0.033	
H20. 5. 13	0.045	0.043	0.037	0.037	0.040	0.037	
H20. 6. 10	0.034	0.037	0.034	0.046	0.054	0.055	
H20. 7. 9	0.026	0.045	0.032	0.051	0.037	0.045	
H20.8.7	0.026	0.045	0.032	0.051	0.037	0.045	
H20. 9. 8	0.026	0.045	0.032	0.051	0.037	0.045	0.05
H20. 10. 7	0.049	0.051	0.054	0.055	0.045	0.046	以下
H20. 11. 5	0.039	0.040	0.038	0.042	0.039	0.040	
H20. 12. 4	0.055	0.055	0.052	0.051	0.047	0.047	
H21. 1. 7	0.045	0.044	0.040	0.040	0.035	0.036	
H21. 2. 5	0.045	0.057	0.034	0.040	0.030	0.029	
H21.3.4	0.030	0.036	0.021	0.024	0.019	0.022	

無機態燐						単位	立: mg/L
調査日	IM-	-2	IM-	-3	IM-	-4	環境
加重口	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値
H20. 4. 28	0.001	0.002	<0.001	<0.001	0.009	0.009	
H20. 5. 13	0.002	0.002	<0.001	0.002	0.004	0.005	
H20. 6. 10	0.003	0.005	0.003	0.008	0.020	0.018	
H20. 7. 9	0.001	0.003	<0.001	0.001	<0.001	0.001	
H20. 8. 7	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.031	0.025	
H20. 9. 8	<0.001	0.009	0.008	0.012	<0.001	0.003	_
H20. 10. 7	0.002	0.020	0.002	0.001	0.017	0.017	
H20. 11. 5	0.004	0.010	0.002	0.001	0.020	0.020	
H20. 12. 4	0.031	0.031	0.027	0.027	0.027	0.027	
H21. 1. 7	0.028	0.030	0.017	0.014	0.022	0.022	
H21. 2. 5	0.013	0.021	0.005	0.002	0.010	0.008	
H21. 3. 4	0.004	0.004	<0.001	<0.001	0.004	0.005	

DO 単位:mg/L							
調査日	IM-2		IM-3		IM-4		環境
	表層	底層	表層	底層	表層	底層	基準値
H20. 4. 28	7.9	7.7	8.4	7. 7	8.6	8.4	
H20. 5. 13	9.6	9.6	11.6	11.7	8.1	8.4	
H20. 6. 10	7.5	6.4	6.2	5. 9	5.7	5. 5	
H20. 7. 9	11.1	4.8	10.9	6. 1	10.1	9.2	
H20. 8. 7	8.0	7.5	9.2	6.6	5. 1	5.0	
H20. 9. 8	7.3	6. 1	5.8	5. 5	6.7	5. 9	5以上
H20. 10. 7	8.3	5. 1	8.2	8. 1	8. 1	8. 1	3以上
H20. 11. 5	8.7	7.8	8.9	9.3	7.5	7. 3	
H20. 12. 4	8.0	8.0	8.2	8. 2	8.3	8.0	
H21. 1. 7	9.6	9.3	10.2	10.2	9. 1	9. 1	
H21. 2. 5	9.5	8.9	9.6	9.5	8.4	8.5	
H21. 3. 4	9.2	9.1	9.4	9.5	9.2	9.3	

資料:「平成20年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/pdf/H20kanshi.pdf(福岡市港湾局)

### (3) 水底の底質の状況

福岡市では、河川の環境基準点19地点で年1回、海域の環境基準点8地点で年1回、 公共用水域での底質調査を行っている。

また、福岡市による「アイランドシティ整備事業 環境監視結果」により、アイランドシティ周辺海域において底質のモニタリング調査を行っている。

#### 1) 公共用水域底質調査結果

調査対象地域における平成 22 年度の河川及び海域底質の測定結果は表 4-1-25(1)に、 底質測定地点は図 4-1-19 に示すとおりである。

底質の暫定除去基準値は総水銀及び PCB で定められており、総水銀、PCB とも底質の 暫定除去基準値を下回っている。

表 4-1-25(1) 底質測定結果(平成 22 年度)						
		河 川		海域		
		唐の原川	多々良川	東部海域	東部海域	底質の暫定
調査項目		(浜田橋)	(名島橋)	(E-2)	(E-6)	除去基準値
	調査 地点	A	В	а	b	
рН		7.6	8.4	7. 7	7. 7	_
COD(mg/g)	COD (mg/g)		2. 5	12	12	_
乾燥減量(%)	乾燥減量(%)		19	61	61	_
強熱減量(%)		1.6	3.6	11	10	_
硫化物(mg/kg)		6	39	350	270	_
有機炭素(mg/g)	有機炭素(mg/g)		6.0	15	14	_
全窒素(mg/kg)	全窒素(mg/kg)		240	1900	1800	_
全燐(mg/kg)	全燐(mg/kg)		360	540	520	_
カト゛ミウム (mg/kg)	カト゛ミウム (mg/kg)		< 0.05	< 0.1	0.1	_
シアン (mg/kg)		< 1	< 1	< 0.5	< 0.5	_
有機燐(mg/kg)	有機燐(mg/kg)		<1	110	110	_
鉛(mg/kg)	鉛(mg/kg)		14	15	15	_
総クロム (mg/kg)	総クロム(mg/kg)		30	110	100	_
六価クロム(mg/kg)	六価クロム(mg/kg)		< 2	<1	<1	_
砒素(mg/kg)	砒素(mg/kg)		2.7	6	7	_
総水銀(mg/kg)		0. 01	0.06	0. 26	0. 26	25ppm以上* (海域は算 出なし)
アルキル水銀 (mg/kg)		< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005	_
PCB (mg/kg)		< 0.01	< 0.01	0.005	< 0.005	10ppm以上

表 4-1-25(1) 底質測定結果(平成 22 年度)

備考:1.pH、乾燥減量、強熱減量以外は乾燥固形物当りの濃度である。

- 2. 暫定除去基準値は底質の乾燥重量当たりの濃度を示している。
- 3. "< 数字", "ND "は定量限界値未満であることを示す。
- 4. 底質の暫定除去基準値の欄の「一」は、基準値が定められていないことを示す。
- 5. 調査日は、河川、東部海域ともに平成22年8月4日である。
- 6. 海域における、水銀を含む底質の暫定除去基準値(底質の乾燥重量当たり)は、次式により算出された値(C)以上とされている。

C=0.18 •  $(\Delta H/J)$  • (1/S) (ppm)

ΔH: 平均潮差 (m) J: 溶出率 S: 安全率

資料:「平成23年度版 ふくおかの環境」(平成23年10月、福岡市環境局)

### 2) アイランドシティ整備事業環境監視調査結果

アイランドシティ周辺海域では、アイランドシティ整備事業のモニタリング調査として環境監視を実施している。

調査対象地域における平成19年度~22年度における調査概要は表4-1-25(2)に示すとおりであり、毎年調査地点や項目を選定しながら調査を実施している。調査地点は図4-1-19に示すとおりである。

平成 21 年度~22 年度は和白海域に限定した調査となっているため、比較的広域に調査が行われている平成 19 年度~20 年度の調査結果を図 4-1-18 に示す。

調査の結果、平成19年度は、和白海域のIH-3の潮下帯で貧酸素に伴う硫化物の増加、 御島海域のIM-4、IH-4の中潮帯・低潮帯で9月に堆積したアオサの腐敗に伴う硫化物の 増加が見られたが、CODなど他の項目の季節変動は小さかった。

平成20年度は、和白海域のIM-3、IH-3で9月に貧酸素に伴う硫化物の増加が見られたが、CODなど他の項目の季節変動は小さかった。

表 4-1-25(2) アイランドシティ整備事業 環境監視調査地点概要(底質)

調査地点		調査年度						
		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度			
С	500m 水路 (IM-2)			_	_			
d	和白海域 (IM-3)		調查項目: COD, 硫化物, 全有機炭素, 全窒素	調査項目: COD, 硫化物, 全有機炭素, 全窒素	調査項目: 硫化物			
е	御島海域 (IM-4)	調査項目:						
f	和白干潟 (T-1)	COD, 硫化物, 全有機炭素,	_					
g	500m 水路 (IH-1)	全窒素						
h	雁ノ巣地区 (IH-2)		調査項目: COD, 硫化物,	_	_			
i	和白干潟 (IH-3)		全有機炭素, 全窒素					
j	御島海域 (IH-4)							
k	雁ノ巣地区 (H-4)							
1	和白地区 (H-6)			調査項目: COD,硫化物,	調査項目:			
m	和白干潟 (H-7)	_	_	全有機炭素, 全窒素	硫化物			
n	和白干潟 (H-9)							

備考:1.「一」は、調査されていないことを示す。

資料:「平成19~22年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/index.html(福岡市港湾局)

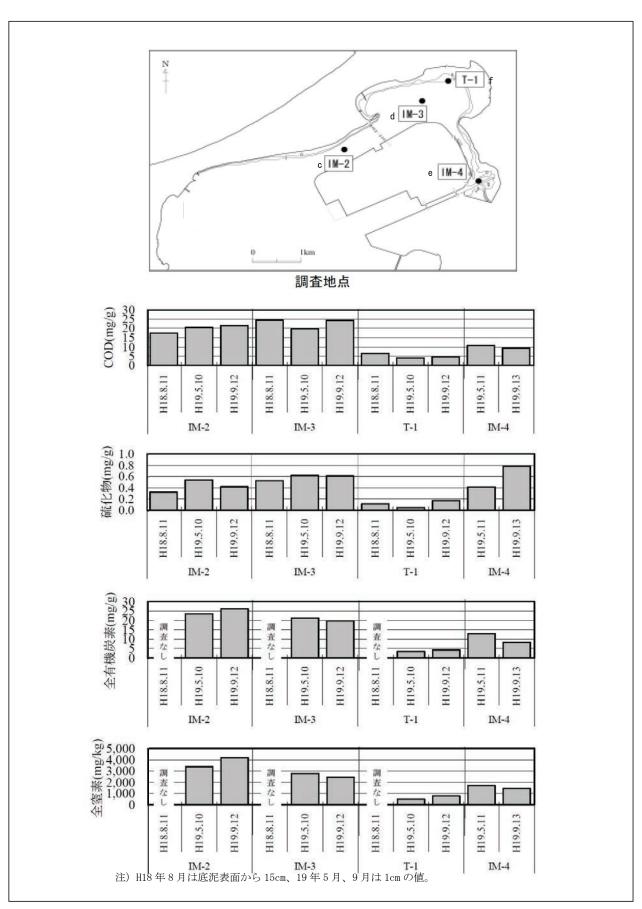
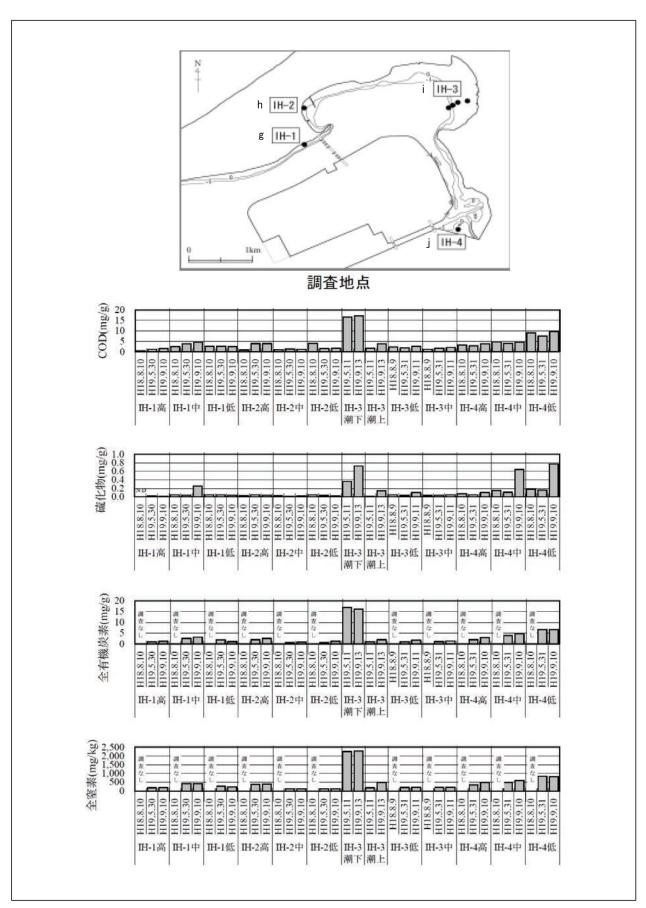


図 4-1-18(1) 底質環境監視結果(平成 19 年度:アイランドシティ整備事業 環境監視結果) 資料:「平成 19 年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/pdf/H19kanshi.pdf(福岡市港湾局)



| 図 4-1-18(2) | 底質環境監視結果(平成 19 年度:アイランドシティ整備事業 | 環境監視結果)

資料:「平成19年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/pdf/H19kanshi.pdf(福岡市港湾局)

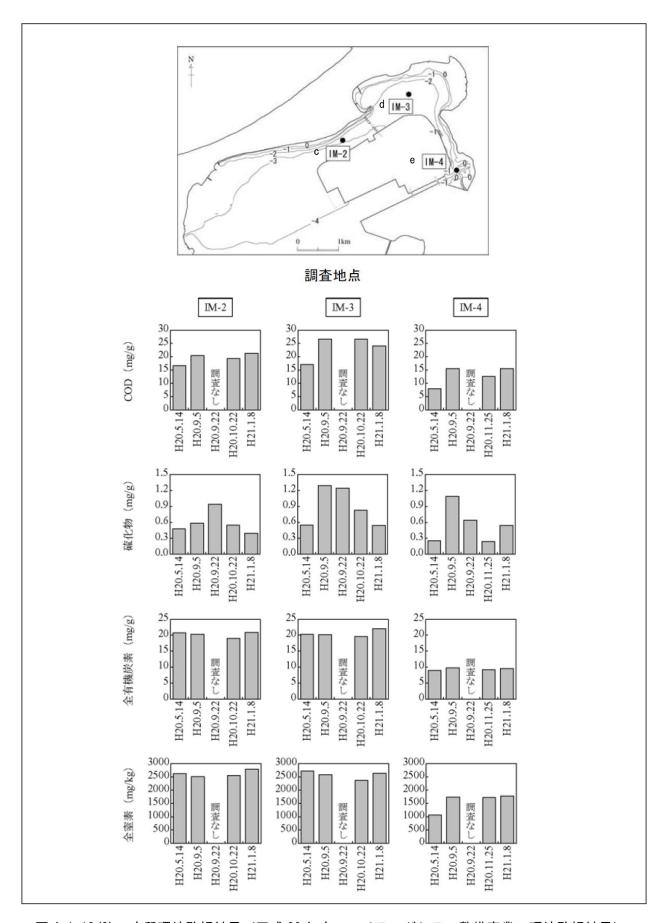


図 4-1-18(3) 底質環境監視結果(平成 20 年度:アイランドシティ整備事業 環境監視結果)

資料:「平成20年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/pdf/H20kanshi.pdf(福岡市港湾局)

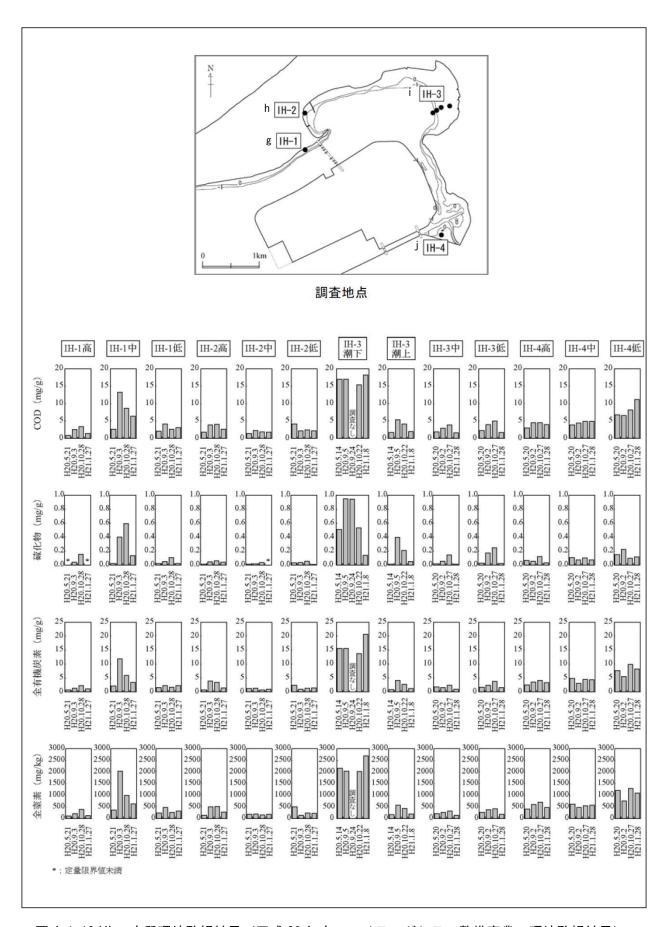


図 4-1-18(4) 底質環境監視結果(平成 20 年度:アイランドシティ整備事業 環境監視結果)

資料:「平成20年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」

http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/ecology/islandcity/IC\_monitoring/pdf/H20kanshi.pdf(福岡市港湾局)

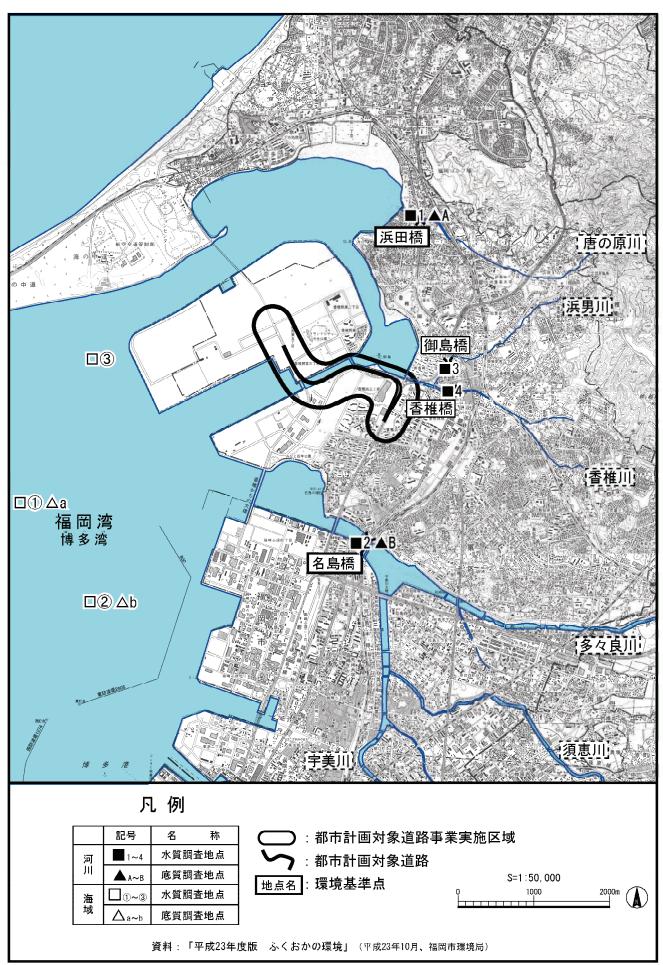


図4-1-19(1) 水質・底質調査地点図(福岡市水質調査地点)

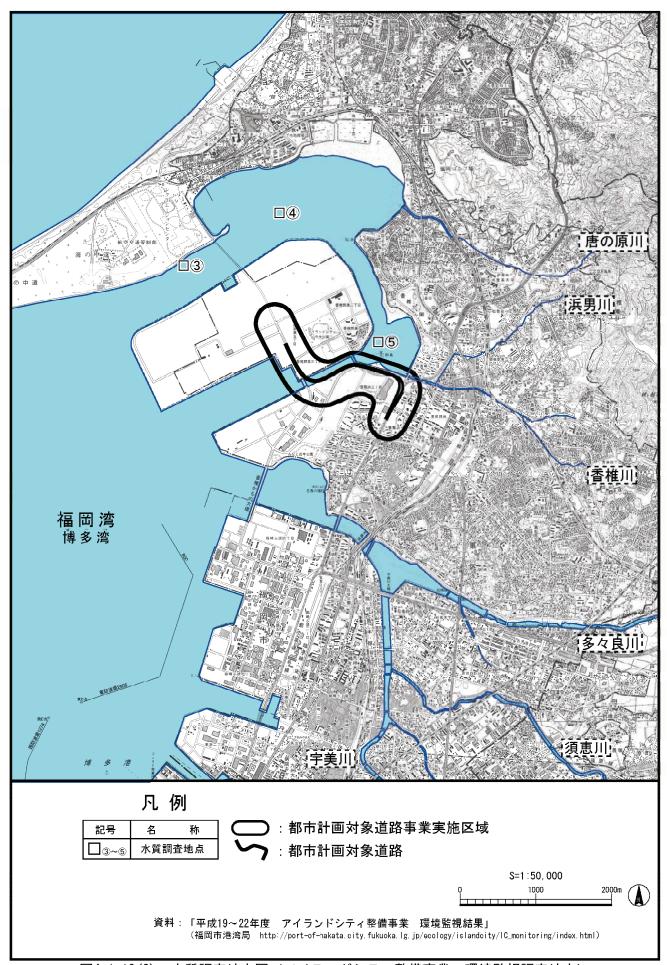


図4-1-19(2) 水質調査地点図 (アイランドシティ整備事業 環境監視調査地点)